

「裾野市幼児施設整備基本構想改訂版3」・「裾野市教育・保育施設再編計画改訂版」(案) に対する意見募集結果

(健康福祉部 幼稚園・保育園課)

市では、令和7年度から12年間の裾野市の幼児施設の整備方針を定める「裾野市幼児施設整備基本構想改訂版3」・「裾野市教育・保育施設再編計画改訂版」の策定を進めています。この度、下記の期間で市民の皆さんから、構想・計画(案)に対する意見を募集しました。御協力ありがとうございました。

意見の概要と、それに対する市の考え方を公表します。意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しました。

1 募集期間

令和6年12月23日(月曜日)～令和7年1月20日(月曜日)

2 意見の提出方法と件数

提出方法	人数(人)	件数(件)
担当課または支所に直接提出	1	1
郵送	0	0
ファクス	0	0
メール	0	0
パブリックコメント提出フォーム	4	12
計	5	13

3 意見の概要と市の考え方

別紙「パブリックコメント意見一覧および回答」のとおり

4 問い合わせ先

健康福祉部幼稚園・保育園課

電話 055-995-1822

パブリックコメント意見一覧および回答

件名:「裾野市幼児施設整備基本構想改訂版3」・「裾野市教育・保育施設再編計画改訂版」(案)に対する意見を募集

No.	該当ページ	該当項目	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	P1	1. はじめに	市単独の計画、構想なので、決意や覚悟を示す上でも、市長の言葉にした方がよいのではないかと。	当該部分は、これまでの経緯等をまとめた部分になっております。計画書自体が、市の決意や覚悟を示しているものと認識しています。
2	P1	(2)計画の目的	「上位計画に位置づけられている」ことは、「計画の目的」ではなく「計画の策定根拠」であり、市民目線から見た「計画の目的」とする必要があるのではないかと。	幼児施設再編の目的は、「教育・保育の質の向上」と考えており、現行の構想・計画を引き継いでおります。 当該部分は、「幼児施設整備基本構想を具体的に進め、幼児教育・保育の質の向上」という目的を達成するに当たり、本構想・計画を推進する上で、本構想・計画の位置づけや背景を説明するために必要な記述であると認識しています。
3	P36	施設の集約	自宅から福祉保健会館まで遠く、妊娠・出産当初、福祉保健会館に行くのが大変でした。交通の不便な所の立地に対して憤りを感じました。そのため、子育て支援センターの駅前への施設誘導についてはとても賛成です。	ご意見ありがとうございます。今後の取組みの参考にします。
4	P37、P38	保育士不足	保育士不足については募集しても応募がないとのことだが既に働いている保育士含めて給料を上げれば良いと思う。給料の原資は施設統合なので浮いた予算を回す。もしくは単純に預かり費用を上げれば良い。	ご意見ありがとうございます。今後の取組みの参考にします。
5	P40	施設の縮充化	施設の縮充化に関して、利用人数の縮小や財政の状況から概ね理解はできますが、縮小したことによる質の向上に関しては良く議論をして欲しいです。現状、保育園・幼稚園に関しては他の市に比べ選択肢が限られていると考えています。施設や行事・方針など使用者の必要経費に差をつけてでも各施設横並びではなく市が重点的に先駆的な取り組みをする施設を作らないと子育て施策に消極的と捉えられ、ますます縮小均衡に陥り持続可能な人口バランスを保てないと危惧します。	引き続き、取組みを複合的に推進し、教育・保育の質向上に努めます。
6	P41	施設の複合化	複合施設の中に幼児施設を作るのは、とても良いと思います。ぜひ子育て支援施設(すこっぷなど)も複合施設の中に入れてほしいです。近隣市町の施設も参考にしてほしいです。	ご意見ありがとうございます。今後の取組みの参考にします。
7	P53	4) 施設の複合化の方針	施設の複合化の方針について、施設類型が異なるものを一体化することで、お互いへの関心が深まり幼児の成長と幼児に関わる社会の理解も進むと感じます。また、支援施設等に関しても複合化を望みます。その際、アクセスのしやすさ等の立地を考える必要があると考えます(例えば、図書館や市役所・商業施設に隣接している等)。また、行政の施設が駅前にまとまっていたり、バス路線沿線にまとまっていれば、利用者も増え、公共交通機関周辺エリアの人口も増え、効率的な街になると思います。	ご意見ありがとうございます。今後の取組みの参考にします。
8	P59	基準適用のイメージと統廃合までの予定(表)	年度は「あくまでも例」なので、R8、R9→N、N+1など、3歳児入園が8人を下回った年度をNとして例示したらどうか。	具体的なイメージが持てるように年度を表記していましたが、ご意見のとおり修正します。
9	P60	5) 幼児施設の一体化(認定こども園化)及び統合の方針	南児童館閉鎖に関して、すこっぷに集約された場合、アクセスできなくなる子どもが出ます。子どもの居場所機能は確保するとありますが、情報がなく不安を招いています。速やかでわかりやすい情報発信を希望します。	南児童館で確保していた子どもの居場所は、公民連携により機能維持を図るため、引き続き関係者との対話を継続していきます。

No.	該当ページ	該当項目	意見の概要	意見に対する市の考え方
10	P60	5) 幼児施設の一体化(認定こども園化)及び統合の方針	南児童館はよく利用していましたので、無くなるのは非常に残念です。特に沢山の小学生の居場所になっていたので、子育て支援としてでなくとも、子どもの居場所としての施設としては存続してくれると嬉しく思います。	南児童館で確保していた子どもの居場所は、公民連携により機能維持を図るため、引き続き関係者との対話を継続していきます。
11	—	—	既存の民間園で特色ある取組みをしており、市全体に広げてほしい。効率を重視する流れの中でも、大切にしている部分、力点を置く部分を明確にしてほしい。	公立の良さと私立の良さを生かしつつ、裾野市における教育・保育の質向上を図っていきます。
12	—	—	理由、根拠とする基礎情報が膨大すぎて、「構想、計画」の何処がポイントとなっているのかわからない。構想、計画のポイントのパートと、情報を分けて表現した方が良いのではないかな。	構想・計画の本編においては、根拠などを極力漏れなく記載する必要があります。ポイントが分かりづらいとの点については、本編とは別にポイントを絞った概要版を作成することで対応します。
13	—	—	裾野市は今現在、幼稚園は満3歳の入園が可能な園は無く、公立は給食も無いため、幼稚園を検討する際近隣の市町村を検討します。その結果、子育てしやすい近隣に移り住む場合もあるのではと感じます。そのため、こども園に関しては、近隣よりも早く、幼稚園をこども園に移行し、給食があるというメリットを作りたいと思います。	公立園は園児数の状況等を踏まえ、認定こども園への移行を引き続き推進していきます。